



東京都知事登録旅行業第2-3609号
(株) HMC

ハンドメイドツアー

mail : asia@handmadetour.jp

TEL : 03-3831-4295

FAX : 03-5812-7085

〒110-0016 東京都台東区台東4-30-8宮地ビル本館7F
ホームページ <http://www.handmadetour.jp/>

★台北からの日帰り観光に最適！！ローカル列車で行く炭鉱の町★

(チントウ) (シーフェン) (ホウトン)

菁桐～十分～猴硐



台湾北東部の山間を走る「平溪線」。

近年では、平溪・十分の天燈（ランタン飛ばし）で有名になりましたが、始まりは炭鉱会社が石炭運搬のために敷設した鉄道。終着駅の**菁桐**（チントウ）、天燈の**十分**（シーフェン）、猫で有名となった**猴硐**（ホウトン）も、かつては炭鉱で賑わった村々です。

そんな炭鉱時代の歴史にも触れながら、ランタンを飛ばしたり、猫に会ったり、ローカル列車に揺られて森を抜けてみたり…。沿線の村々を楽しんでみませんか。

■平溪線沿線図

平溪線略図



瑞芳～菁桐間は20km・約50分。
気動車で、約1時間に1本の運行されています。

厳密には瑞芳～三貂嶺は宜蘭線、三貂嶺～菁桐間が平溪線となりますが、三貂嶺は山間にあり、台北から行くと瑞芳で乗換、瑞芳～菁桐間は直通運転されています。

ちなみに人気の観光地「九份」は車での移動が必要ですので、ご注意ください。

■台湾屈指の炭田だった「菁桐」(ジントン/Jingtong)



平溪線の終着駅「菁桐」は、台湾屈指の炭田と言われた場所。平溪線も菁桐の炭田開発のために敷設されました。

ホームから見て線路を挟んだ反対側に、石炭を上から貨物列車に積み込むための設備が残っています。木造の駅舎は、日本統治時代に建てられたもの。駅前の小さな老街には、昔の円柱状の郵便ポストが今も現役で使われています。



■鉄道危機も救った！天燈上げの「十分」(シーフエン/Shifen)

かつて石炭採掘で栄えた平溪線沿線も、炭鉱の閉鎖とともに廃線の危機に…。しかし観光路線として生き残りを図り、大きな成果を上げた1つが「十分の天燈（テンダン）上げ」でしょう。

夜空に打ち上げる「平溪天燈祭」で有名になりましたが、普段から打ち上げできます。



願いごとを書いたランタンを気球の原理で飛ばします。でも、そこは線路の上!?

人と列車が共存する光景は、おおらかな気持ちにさせてくれます。



■炭鉱の記憶が息づく猫村「猴硐」(ホウトン／ Houtong)

猫好きの間では「猫村」として親しまれている「猴硐(ホウトン)」。
昔、ネズミ対策で多く飼われた猫たちでしたが、今も住民の手で飼育され、警戒心ゼロ。観光客を和ませてくれています。
ですが、猴硐は猫だけではありません！
駅前の「猴硐煤鉱博物園區」には、炭鉱時代の石炭選別工場やトロッコ橋、当時の作業風景を再現した展示もあり、見ごたえがあります。



■昭和の香り漂うレトロな街「九份」

九份は、宮崎駿の映画「千と千尋の神隠し」のモデルになった町として有名に。人気の観光スポットです。
日本統治時代に最盛期を迎え、当時の料理店などの建物が多数残されています。

夕方になると提灯が灯され、「千と千尋」の雰囲気が増しますが、狭い階段に観光客が集中して大混雑…。もし静かに景観を楽しむなら、空いている時間帯、午前中もおすすめ。お茶屋さんでお茶を楽しめます。

